

# サスラバーカンパニー CSRレポート

**事業内容:** 自動車用ホース、ゴム窓枠用シール材、工業用型物ゴム部品の生産・販売  
**敷地面積:** 86,700m<sup>2</sup>  
**従業員数:** 85人(2011年4月30日現在)  
**所在地:** 474 Newell Street, Painesville, OH 44077, USA  
**相談・苦情などの受付窓口:** +1-440-352-3321



## 社長ご挨拶



谷村 博史

サスラバーは1937年に創業し、1992年に横浜ゴムの一員になった会社で、インダストリアル部門とホース部門からなっています。インダストリアル部門では、異形押し出しおよび加工技術による大量輸送向けの窓枠用ガスケット、ドアエッジ、シール材などを製造し、大手のバス、車両会社に納入しています。特に最近の環境問題への解決策として大量輸送システムが見直される気運からこれらの需要が拡大することが期待されます。ホース部門では自動車用パワーステアリングおよびエアコン用ホースを製造し、トヨタなどの日系自動車メーカーやGMなどのデトロイト3(ビッグ3)に納入しています。環境マネジメントシステムISO14001は、2007年12月に取得しました。2006年から始めた省エネプロジェクトも継続的な活動として定着し、工場用水では、クローズドシステム化による再利用、ガスではボイラーのプリヒーティング、蒸気漏れ修理、蒸気配管の保温等による効率アップ、電力では不要時の機械停止、省エネ電球への転換等で大きなエネルギー削減を達成してきました。またこれらの活動では、科学的にデータで管理することによりさ

らなる削減につなげています。設計および生産面では横浜ゴムの支援を受け2008年から2009年にかけて生産工程での有機溶剤の大幅削減と製品からの環境有害物質排除を進めてきました。地域の一員としては、グリーンウェーブ活動の一環として2009年に地元のメープル小学校に対し植樹支援のために樹木の寄付を行い、2010年も、やはり地元のチェスナッツ小学校に同様の樹木の寄付を継続して行っています。さらに、今年は横浜ゴム千年の杜の一員として、6月4日にサスラバーの敷地内に約600本の植樹を行いました。従業員とその家族、地域の関係者によって植えられた苗は、まだまだ小さいものですが、これからの成長を全員で見守っていきたいと思っています。サスラバーは、横浜ゴムのGD100のスローガンである「トップレベルの環境貢献企業」になるために、このような環境保全活動を全従業員が一丸となって進めていきます。

## 環境経営の推進

### 環境方針

- (1) すべての活動分野で環境に配慮した施策に取り組みます。
- (2) 環境マネジメントシステムを構築・強化し、継続的な改良活動と最新の技術、コスト効率の高い解決策によって環境汚染の防止に努めます。
- (3) 法律や直轄機関の定める要求、その他の環境規則に従います。
- (4) 廃棄物の削減、リサイクル、再利用などを通じて汚染防止目標を設定し、天然資源の保護に努めます。
- (5) 省エネルギー活動、エネルギー効率の改善、再利用できるエネルギー源の優先使用などを通じて、エネルギーの有効活用に努めます。
- (6) 環境保全に貢献し、従業員の教育と訓練計画などの環境情報を提供します。
- (7) ビジネスプロセスの継続的改善に努め、環境マネジメントシステムによって環境目標を設定し、年一回見直しを行います。

### 環境データ

項目	2008年度	2009年度	2010年度	
廃棄物発生量(t)	309	178	143	
埋立率(%)	74.0	66.7	90.5	
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	1,261	912	986
	燃料	615	498	493
	合計	1,876	1,410	1,480
温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	3.9	2.9	3.1	
水使用量(千m <sup>3</sup> )	7.0	3.4	3.9	

※年度:1月~12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用した。



地元学校への環境教育支援

2009年は、サスラバー近傍のペインスビルメイプル小学校へ植樹支援として樹木を寄付しました。



2010年は、グリーンウェーブの一環として、同様にチェスナッツ小学校に樹木を寄付しました。



2011年は、横浜ゴム千年の杜の一員として約600本の植樹を行いました。

